

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
37	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b> Alcohol drinking and renal cell carcinoma in Canadian men and women. カナダ人の男女における飲酒と腎細胞ガン	
<b>執筆者</b> Hu J, Chen Y, Mao Y, Desmeules M, Mery L; Canadian Cancer Registries Epidemiology Research Group.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Cancer Detect Prev. 2008;32(1):7-14. Epub 2008 Apr 16.	
<b>キーワード</b> アルコール、腎臓、腎細胞ガン、危険因子、性差	
<b>要旨</b>  <b>背景：</b> 疫学的研究により、中等量のアルコール消費と腎細胞癌 (renal cell carcinoma, RCC) リスクとの負の関連が示されているが、男女でその結果は異なっている。本研究では、アルコール摂取量と RCC のリスクとの関連を男女別に検討する。	
<b>方法：</b> カナダの 8 州で 1994 年から 1997 年の間に、組織学的に新たに診断された RCC 患者 1138 人、および一般集団の 5039 人のコントロールにアンケートを郵送した。頻度法による食事調査で、調査の 2 年前の食習慣および飲酒習慣についての情報を得た。その他、社会経済状態、生活習慣、飲酒習慣、食事習慣についての情報を得た。オッズ比 (odds ratio, OR) と 95 % 信頼区間 (confidence interval, CI) は条件なしロジスティック回帰により求めた。	
<b>結果：</b> 男女ともに、総アルコール摂取量と RCC は負に関連した。最も飲酒量の多い群 (男性 22.3g/day 以上、女性 7.9g/day) の非飲酒者に対するオッズ比は男女ともに 0.7 (95%CI 0.5-0.9) であった。閉経状態を考慮した解析では、閉経前の女性では最も飲酒量の多い群の非飲酒者に対するオッズ比は 1.2 (95% CI, 0.7-2.1) であり、閉経後の女性では 0.6 (95% CI, 0.4-0.9) であった。喫煙や肥満を加えた解析でも大きな違いはなかった。	
<b>結論：</b> 中等量飲酒は男女ともに (女性ではおもに閉経後) RCC のリスク低下に関連しているかもしれない。	